

令和8年6月26日

お知らせ

課所名	農林水産総合センター 産学連携推進課
担当	安河内、三宅
直通	086-955-0273

農林水産総合センター「夏の体験教室」を開催します！ ～おokayamaの農林水産物、見て・触れて・調べてみよう～

県では、農林水産業への関心と理解を深めていただくため、小学生等を対象とした夏の体験教室を開催しますのでお知らせします。

なお、本件については、県政記者クラブにも同時にお知らせします。

- 1 実施期間 令和8年7月21日（火）～8月31日（月）
- 2 対象 小学生、高校生及びその保護者
- 3 内容

各研究所と農業大学校で農林水産物に関する実験や工作などの体験教室を行います。

体験イベント名	開催日	実施場所
チリメンモンスターを探せ！	7月31日(金)	水産研究所（瀬戸内市）
土や果物のことを見る、感じる、調べる！	8月4日(火)	農業研究所（赤磐市）
遺伝子にふれてみよう！	8月5日(水)	生物科学研究所（吉備中央町）
森の恵みを体験してみよう！	8月6日(木)	森林研究所（勝央町）
木の良さを体験してみよう！	8月7日(金)	森林研究所木材加工研究室（真庭市）
牛乳パックを使って工作をしよう！	8月8日(土)	畜産研究所まきばの館（美咲町）
農業大学校の施設見学会	7月21日～ 8月31日の平日	農業大学校（赤磐市）

参加費は無料で事前申込が必要です。（7月10日（金）受付開始）

4のセンターホームページ特設コーナーを確認の上、電子申請、メール又はFAXにより、各研究所等へ直接申し込んでください。

4 センターホームページ特設コーナー

<https://www.pref.okayama.jp/page/979782.html>

なお、特設コーナーには農林水産総合センターの研究成果も掲載しています。

参加費
無料

農林水産総合センター 夏の体験教室



チリメンモンスターを探せ!

7/31 (金) 10:00-12:00

対象 小・中学生とその保護者
定員 10組 (先着順)
場所 水産研究所 (瀬戸内市)
内容 選別前のチリメンから
タコなどの稚魚探し。
「おさかな学習室」の見学など。



森の恵みを 体験してみよう!

8/6 (木) 13:00-16:00

対象 小学生とその保護者
定員 10組 (先着順)
場所 森林研究所 (勝央町)
内容 木の枝クラフトの工作体験
や樹木のお話など。



土や果物のことを 見る、感じる、調べる!

8/4 (火) 9:30-12:00

対象 小学生とその保護者
定員 5組 (先着順)
場所 農業研究所 (赤磐市)
内容 土壌の働き、
果物の香り、美味しさ
などを評価する方法を体験。



木の良さを 体験してみよう!

8/7 (金) 13:00-15:00

対象 小学生とその保護者
定員 10組 (先着順)
場所 森林研究所
木材加工研究室
(真庭市)
内容 ヒノキを使った
木工体験や研究の
見学など。



遺伝子にふれてみよう!

8/5 (水) 10:00-16:00

対象 高校生とその保護者
定員 8名程度 (先着順)
場所 生物科学研究所 (吉備中央町)
内容 PCRを利用した遺伝子分析や
研究施設見学など。



牛乳パックを使って 工作をしよう!

8/8 (土) 11:00-13:00

対象 小学生とその保護者
定員 15名 (先着順)
場所 まきばの館
(美咲町 畜産研究所内)
内容 牛乳パックを再利用して、
自分だけの万華鏡を作ります。



専門の研究者と本気の科学を体験しませんか!
昼食持参で、ぜひ参加してみてください!

農業大学校の施設見学会 7/21 (火) ~8/31 (月) ※平日限定。

対象 高校生とその保護者
定員 2~3組/日 (先着順)
場所 農業大学校 (赤磐市)
内容 農業大学校の施設、
ほ場見学など



事前に申し込みが必要です!
令和8年7月10日(金)受付開始!
詳しくはホームページをご確認ください。

<https://www.pref.okayama.jp/page/979782.html>



■ 研究成果パネル

農林水産総合センターでは、5つの研究所の最新の研究成果などをまとめた28枚のパネルをHPに掲載しています。



農業研究所 「ゆびけん」によるモモ収穫の省力化

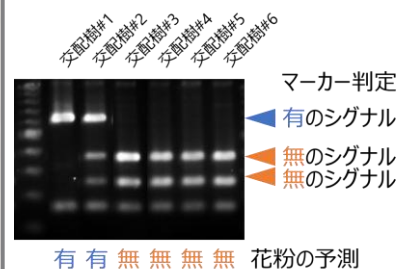
モモの収穫は、果実ごとに袋を開けて果皮色を確認する必要があり、熟練した判断と多くの労力を要します。そこで、果実硬度共鳴測定器「ゆびけん」で収穫適期を予測し、収穫までの日数をスマートグラスに表示するシステムを開発しました。



「ゆびけん」による収穫適期の予測

生物科学研究所 効率的な優良モモ新品種育成法の開発

通常の育種では、花粉をつくる等優れた形質を合わせ持つ優良な個体が見つかりにくいことから、独自に開発したDNAマーカーを用いて、岡山らしいモモ新品種の効率的育成を進めています。



畜産研究所 岡山和牛の育種改良

和牛の生産性や肉質などの能力を評価し、優秀な和牛を選抜・育種するとともに、その精液や受精卵を県内に供給することで岡山和牛の能力向上を進めています。



能力評価の様子

森林研究所 少花粉コンテナ苗木の安定生産

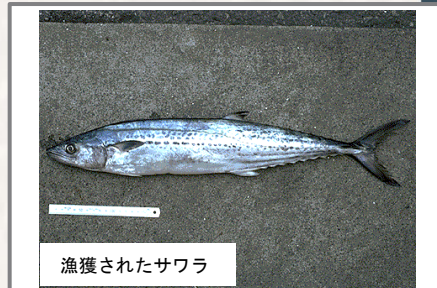
花粉症対策として、花粉の少ないスギ・ヒノキの植栽を進めており、より省力的な植栽が可能となる少花粉コンテナ苗の安定生産と増産技術の開発を進めています。



少花粉ヒノキの苗

水産研究所 サワラのサイズおよび漁獲時期の変化

近年の海洋環境の変化がサワラに与える影響を調べたところ、資源量の回復に伴いサイズが小型化していること、春期の海水温上昇の早期化に伴い漁獲量のピーク時期が早まっていることがわかりました。



漁獲されたサワラ

その他にも農業大学校や当センターの紹介パネルを掲載しております。
右記二次元コードからご確認ください。

<https://www.pref.okayama.jp/page/745206.html>

